　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和4年12月吉日

理事長　　　佐藤　慎一

実行委員長　佐野　和広

審判長　　　桐山　謙介

**第54回千代田区空手道選手権大会組手一般男子団体戦実施要綱**

【申込要領】

1. 千代田区空手道連盟所属の団体が参加資格を有する。
2. 参加費は１チーム3,000円。
3. 各団体１チームのみエントリー可能。
4. チームメンバーは2名以上5名まで事前登録できる。  
   各試合の出場選手（3名）および順序は当日配布する所定のエントリー用紙に記入する。
5. 選手は、高校生以上の男子とする。（個人戦との併用出場可）
6. チームには必ず監督１名を登録する。  
   監督は、大会役員、審判員、係員との兼任は不可とする。  
   選手との兼任は可とするが、その場合、試合において監督からの抗議はできない。
7. エントリー用紙の選手名と出場する選手に相違があったチームは失格とする。

【競技規定】

1. 原則として個人戦の競技規定ならびに競技方法（大会実施要項に記載）に準ずる。
2. トーナメント方式とする。
3. 試合は２勝した時点で勝敗を決し、消化試合は行なわない。
4. 対戦は、第１試合：先鋒　第２試合：中堅　第３試合：大将　の順で試合を行う。
5. ２名で参加のチームの場合は、先鋒と中堅が試合を行う。
6. 選手は主審側から大将・中堅・先鋒の順に整列する。監督は監督席のそばに立つ。  
   試合開始時に選手の並び順を間違えた場合は反則とする。
7. 反則負けの選手は、その試合における獲得ポイントを失う（０対４となる）。
8. 時間内で両者同時に４ポイントを超えた場合は４対４とみなす。  
   先取がない場合は、全空連競技規定に沿って勝敗を判定する  
   ※例えば、それまで突き技のみで先取なしで３対３となった後で、一方の突き技ともう一方の蹴り技が同時に極まった場合は、ポイントは４対４となるが、蹴り技を出した選手の勝利となる。
9. 試合終了時点で勝敗数が同じかつ総獲得ポイントも同点の場合は、双方のチーム内の選手から１名を選び代表戦を行う。この代表戦には、事前登録された選手であれば、当該試合に出場していなかった選手から選定してもよい。

【運用規定】

1. 表彰は優勝チームのみ。（連盟盃及び表彰状1枚）
2. 上記に記載されない事項については大会審判長の判断に従うものとする。なお本要項の内容を変更する場合もある。

以上